

## 第 32 回鳥類内分泌研究会プログラム

2007 年 11 月 15-16 日  
ホテルニューグランドみまつ

11 月 15 日 (木)

11 : 30 参加受付開始

13 : 00 開会の挨拶

\*若手研究奨励賞応募演題

研究発表 : 摂食エネルギー代謝に関するセッション (13 : 05-14 : 20)

座長 : (1-3) 豊後 貴嗣 (広島大) (4,5) 竹内 栄 (岡山大)

- \* -1 ニワトリの脂肪組織における局所性メラノコルチン調節系の生理機能解析  
板東可奈、藪内雅文、高橋純夫、竹内栄 (岡山大院・自然科学)
- \* -2 ニワトリにおけるアグチ関連タンパクの普遍的発現の分子機構  
平松美紗都、藪内雅文、高橋純夫、竹内栄 (岡山大院・自然科学)
- \* -3 ニワトリヒナの脳内摂食調節機構における一酸化窒素の役割  
モハメド シャキル イスラム カーン、中野泰典、橘哲也、上田博史 (愛媛大・農)
- \* -4 卵用鶏ヒナおよび肉用鶏ヒナにおける中枢インスリンによる摂食行動調節  
白石純一、柳田光一、藤田正範、豊後貴嗣 (広島大院・生物圏)
- 5 リポポリサッカライドによるハトの発熱  
野本茂樹 (都老人研・中枢神経)

研究発表 : 遺伝に関するセッション (14 : 20-14 : 50)

座長 : 小野 珠乙 (信州大)

- \* -1 ニワトリにおける羽色調節の分子機構に関する研究  
織部恵莉、吉原千尋、高橋純夫、竹内栄 (岡山大院・自然科学)

\* -2 名古屋種における羽性の遺伝子型判定法の開発

小林正直<sup>1</sup>、神作宜男<sup>1</sup>、中村明弘<sup>2</sup>、野田賢治<sup>2</sup> ( <sup>1</sup>麻布大、<sup>2</sup>愛知農総試)

休憩 ( 14 : 50-15 : 05 )

シンポジウム：鳥類におけるグレリン関連ペプチドとその受容体の機能 ( 15 : 05-17 : 05 )

座長 田中 実 (日獣大)

S-1 グレリン比較内分泌学の古今東西：鳥類は特におもしろい！

海谷 啓之 ( 国立循環器病センター )

S-2 ニワトリ胃グレリン産生細胞とグレリン側鎖修飾

坂井 貴文 ( 埼玉大学大学院理工学研究科 )

S-3 グレリンによるニワトリヒナの摂食調節

古瀬 充宏 ( 九州大学大学院農学研究院 )

S-4 ニワトリにおけるグレリン受容体ファミリーの構造と組織発現特性

山本 一郎 ( 日本獣医生命科学大学ハイテクリサーチセンター )

S-5 ニワトリ受精卵におけるグレリンとグレリン受容体の検出

- 胚発達にグレリンが関与するか？ -

吉村 幸則 ( 広島大学大学院生物圏科学研究科 )

休憩 ( 17 : 05-17 : 20 )

特別講演 ( 17 : 20-18 : 05 )

座長：大久保 武 (香川大)

鳥類内分泌研究 30 年の邂逅

島田 清司 ( 名古屋大学大学院生命農学研究科 )

懇親会 ( 18 : 30-20 : 30 )

11月16日(金)

7:30-9:00 朝食

研究発表 : 下垂体に関するセッション(9:00-10:30)

座長:(1-3)神作 宜男(麻布大)(4-6)坂井 貴文(埼玉大)

- \* -1 ニワトリ胚下垂体におけるレチノイン酸産生とその作用の解明  
長島景子、高木宏泰、井上麻紀子、鄭軍、坂井貴文(埼玉大・理)
- \* -2 ニワトリ胚下垂体隆起部は発生期を通じて  $\beta$ -GSU mRNA を高発現する  
井上麻紀子、高木宏泰、長島景子、坂井貴文(埼玉大・理)
- 3 発生期ニワトリ下垂体における接着関連因子の局在解析  
高木宏泰、長島景子、井上麻紀子、筒井千尋、坂井貴文(埼玉大・理)
- \* -4 ニワトリ Pit-1 の発現及び機能解析 - 下垂体と神経性網膜の比較によるアプローチ -  
谷内秀輔<sup>1</sup>、白澤信行<sup>2</sup>、高橋純夫<sup>1</sup>、竹内栄<sup>1</sup>(<sup>1</sup>岡山大院・自然科学、<sup>2</sup>山形大・医)
- \* -5 成長ホルモン受容体異常ニワトリを用いたニワトリの成長機構に関する研究  
花井隆信<sup>1</sup>、蔵岡良之<sup>1</sup>、奥村健太<sup>2</sup>、山田規久美<sup>2</sup>、松永久恵<sup>1</sup>、高山祐樹<sup>2</sup>、  
田原謙一<sup>2</sup>、塚田光<sup>2</sup>、齋藤昇<sup>2</sup>、島田清司<sup>2</sup>(<sup>1</sup>名大・農、<sup>2</sup>名大院・生命農)
- 6 ニワトリインスリン様成長因子結合蛋白質 4 (chIGFBP4) 遺伝子の GH 依存的  
転写制御機構の解明  
田原謙一<sup>1</sup>、塚田光<sup>1</sup>、村井篤嗣<sup>1</sup>、佐藤幹<sup>2</sup>、秋葉征夫<sup>3</sup>、田中実<sup>4</sup>、齋藤昇<sup>1</sup>、  
島田清司<sup>1</sup>(<sup>1</sup>名大院・生命農、<sup>2</sup>東農工大・農、<sup>3</sup>東北大院・農、<sup>4</sup>日獣大・応  
用生命)

休憩(10:30-10:45)

研究発表 : 脳機能に関連したセッション(10:45-12:00)

座長:(1、2)山本 一郎(日獣大)(3-5)桑山 岳人(東農大)

- \* -1 鳥類の光周性分子機構の解明  
 中尾暢宏<sup>1</sup>、小野ひろ子<sup>1</sup>、山村崇<sup>1</sup>、安楽翼<sup>1</sup>、東久美子<sup>1</sup>、安尾しのぶ<sup>1</sup>、加藤泰弘<sup>1</sup>、影山三朗<sup>1</sup>、宇野有美子<sup>1</sup>、粕川雄也<sup>2</sup>、飯郷雅之<sup>3</sup>、Peter J. Sharp<sup>4</sup>、岩澤淳<sup>5</sup>、鈴木穰<sup>6</sup>、菅野純夫<sup>6</sup>、新美輝幸<sup>1</sup>、水谷誠<sup>7</sup>、並河鷹夫<sup>1,7</sup>、海老原史樹文<sup>1,7</sup>、上田泰己<sup>2</sup>、吉村崇<sup>1,7,8</sup>（<sup>1</sup>名大院・生命農学、<sup>2</sup>理研・CDB、<sup>3</sup>宇都宮大・農、<sup>4</sup>ロスリン研究所、<sup>5</sup>岐阜大・応用生物科学、<sup>6</sup>東大院・新領域創成科学、<sup>7</sup>名大・鳥類バイオサイエンス研究センター、<sup>8</sup>名大・高等研究院）
  
- \* -2 ジュウシマツ cDNA マイクロアレイを用いた歌制御神経核特異的な遺伝子の同定  
 加藤真樹、岡ノ谷一夫（理研・生物言語）
  
- 3 水チャネルAQP4 のニワトリの脳内分布  
 吉村圭司、Aste Nicoletta、島田清司、齋藤昇（名大院・生命農学）
  
- \* -4 GnIH ニューロンは GnRH ニューロンを上位から制御する  
 Vishwajit S Chowdhury<sup>1</sup>、産賀崇由<sup>2</sup>、George Bentley<sup>2</sup>、大杉知裕<sup>1</sup>、筒井和義<sup>1</sup>（<sup>1</sup>早稲田大・教育総合科学・統合脳科学、<sup>2</sup>カリフォルニア大・バークレー校・統合生物）
  
- \* -5 生殖腺系における GnIH と GnIH 受容体の発現  
 森田吉洋<sup>1,2</sup>、George Bentley<sup>3</sup>、産賀崇由<sup>3</sup>、Vishwajit S Chowdhury<sup>1</sup>、蓮沼至<sup>1</sup>、矢野哲<sup>2</sup>、筒井和義<sup>1</sup>（<sup>1</sup>早稲田大・教育総合科学・統合脳科学、<sup>2</sup>東京大学・医学系研究科・産婦人科学、<sup>3</sup>カリフォルニア大・バークレー校・統合生物）

昼食（幹事会）（12：00-13：15）

研究発表：ストレス・行動に関する研究（13：15-14：15）

座長：橋 哲也（愛媛大）

- \* -1 ストレス負荷がヒナの血液性状と間脳 NPY および CRF mRNA 発現に及ぼす影響  
 柳田光一、白石純一、藤田正範、豊後貴嗣（広島大院・生物圏）
  
- \* -2 ニホンウズラの拘束によるストレス反応の性差  
 伊藤愛弓、小磯慧里子、目黒高志、増山紗葵、岩田尚孝、門司恭典、桑山岳人（東農大）

- \* -3 ニワトリヒナでのグルタチオン脳室投与による催眠・鎮静効果の誘発  
山根春香<sup>1</sup>、友永省三<sup>1</sup>、末永理絵<sup>1</sup>、Li Han<sup>2</sup>、速水耕介<sup>2</sup>、古瀬充宏<sup>1</sup> (<sup>1</sup>九大院・農、<sup>2</sup>ファンケル研究所)
- \* -4 -アラニン関連ジペプチドの中枢投与はニワトリヒナの行動に影響を及ぼす  
恒吉洋佑<sup>1</sup>、山根春香<sup>1</sup>、友永省三<sup>1</sup>、森下幸治<sup>2</sup>、古瀬充宏<sup>1</sup> (<sup>1</sup>九大院・農、<sup>2</sup>協和発酵工業)

研究発表 : 生殖と繁殖に関連したセッション (14:15-15:00)

座長: 吉村 崇 (名古屋大)

- \* -1 生殖系列キメラ作出のために改良した軟X線照射による効果的なPGCsの増殖抑制  
渥美優介<sup>1,2</sup>、行徳聡<sup>2</sup>、田上貴寛<sup>3</sup>、鏡味裕<sup>2</sup>、小野珠乙<sup>2</sup> (<sup>1</sup>信州大・院総工、<sup>2</sup>信州大農、<sup>3</sup>畜草研)
- \* -2 烏骨鶏の黒色素沈着を利用したキメラ判別の試み  
行徳聡<sup>1</sup>、渥美優介<sup>1,2</sup>、鏡味裕<sup>1</sup>、小野珠乙<sup>1</sup> (<sup>1</sup>信州大農、<sup>2</sup>信州大院・総工)
- 3 精子抽出物および精子特異的PLCzeta cRNAの顕微注入に対するウズラ卵子の反応  
水島秀成<sup>1</sup>、高木惣一<sup>1</sup>、小野珠乙<sup>2</sup>、渥美優介<sup>2,3</sup>、塚田光<sup>1</sup>、齋藤昇<sup>1</sup>、島田清司<sup>1</sup> (<sup>1</sup>名大院・生命農学、<sup>2</sup>信州大・農、<sup>3</sup>信州大院・総工)

休憩 (15:00-15:15)

研究発表 : 遺伝子発現に関するセッション (15:15-15:45)

座長: 塚田 光 (名古屋大)

- 1 ニワトリニューロテンシン受容体の一次構造と mRNA の組織発現分布  
沼尾真人<sup>1</sup>、和田智子<sup>1</sup>、山本一郎<sup>2</sup>、對馬宣道<sup>1</sup>、田中実<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>日獣大・応用生命、<sup>2</sup>日獣大ハイテク)
- 2 晩成性鳥種におけるVIP cDNAのクローニング  
佐藤典、神作宜男 (麻布大)

若手優秀発表賞の発表・表彰(15:45-16:00)

16:00 閉会の挨拶